

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-516735(P2008-516735A)

【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-537971(P2007-537971)

【国際特許分類】

A 6 1 L 24/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 25/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月17日(2008.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

止血材において、  
吸収性フォームと、  
吸収性織布またはメリヤス生地と、  
トロンピン、および / または、フィブリノーゲンと、  
を含む、止血材。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の止血材において、

前記フォームは、多糖類、アルブミン、キチン、カルボキシメチルキチン、ヒアルロン酸、ヒアルロン酸の塩、アルギン酸塩、アルギン酸、アルギン酸プロピレングリコール、グリコーゲン、デキストラン、硫酸デキストラン、カードラン(curdlan)、ペクチン(pectin)、プルラン(pullulan)、キサン(xanthan)、コンドロイチン(chondroitin)、コンドロイチン硫酸(chondroitin sulfates)、カルボキシメチルデキストラン(carboxymethyl dextran)、カルボキシメチルキトサン(carboxymethyl chitosan)、キトサン、ヘパリン、ヘパリン硫酸、ヘパラン、ヘパラン硫酸、デルマタン硫酸、ケラタン硫酸、カラゲナン(carrageenans)、キトサン、デンプン、アミロース(amylose)、アミロペクチン(amylopectin)、ポリ - N - グルコサミン、ポリマンヌロン酸、ポリグルクロン酸、ポリグルロン酸(polygluronic acid)、および、上記の物質のいずれかの誘導体、から成る群から選ばれた 1 種以上のポリマーを含有している、止血材。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の止血材において、

前記フォームは、メチルセルロース、アルキルヒドロキシアルキルセルロース、ヒドロキシアルキルセルロース、硫酸セルロース、カルボキシメチルセルロースの塩、カルボキシメチルセルロース、カルボキシエチルセルロース、から成る群から選ばれた多糖類を含有している、止血材。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の止血材において、

前記吸収性織布またはメリヤス生地は、酸化多糖類を含有している、止血材。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の止血材において、  
前記吸収性織布またはメリヤス生地は、酸化セルロースを含有している、止血材。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の止血材において、  
前記吸収性織布またはメリヤス生地は、酸化された再生セルロースを含有している、止血材。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の止血材において、  
前記吸収性織布またはメリヤス生地は、酸化された再生セルロースを含有する吸収性メリヤス生地である、止血材。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の止血材において、  
前記フォームは、カルボキシメチルセルロースおよびアルブミンを含有しており、  
前記吸収性織布またはメリヤス生地は、酸化された再生セルロースを含有しており、  
前記トロンビンおよび前記フィブリノーゲンは、前記フォームの中に組み込まれているか、または前記フォーム上に吹き付けられている、止血材。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の止血材において、  
[カルボキシメチルセルロース] 対 [前記アルブミン] の重量比は、重量で約 1 : 8 ~ 8 : 1 の範囲である、止血材。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の止血材において、  
前記止血材におけるトロンビン活性度は、約 20 ~ 500 IU / cm<sup>2</sup> の範囲であり、かつ、  
フィブリノーゲン活性度は、約 2 ~ 15 mg / cm<sup>2</sup> の範囲である、止血材。

【請求項 11】

請求項 2 に記載の止血材において、  
前記フォームは、ヒアルロン酸、またはヒアルロン酸の塩を含み、  
トロンビン、および / または、フィブリノーゲンが、前記フォームの中に組み込まれている、止血材。

【請求項 12】

請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載の止血材において、  
前記止血材は、殺菌されている、止血材。

【請求項 13】

止血材において、  
請求項 12 に記載の止血材が、電子線殺菌によって、約 4 ~ 25 kGy の吸収線量で  $10^{-6}$  の殺菌確証レベルまで殺菌されている、止血材。